



2024年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年11月10日

東・福

上場会社名 株式会社Fusic

上場取引所

コード番号 5256

URL <https://fusic.co.jp/>

代表者 (役職名)代表取締役社長

(氏名)納富 貞嘉

問合せ先責任者 (役職名)執行役員経営企画本部長

(氏名)小田 晃司

(TEL)092(737)2616

四半期報告書提出予定日

2023年11月10日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有(個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第1四半期の業績(2023年7月1日~2023年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第1四半期	439	—	74	—	74	—	48	—
2023年6月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第1四半期	39.27	37.55
2023年6月期第1四半期	—	—

(注) 当社は、2023年6月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2023年6月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第1四半期	1,209	847	70.0
2023年6月期	1,232	799	64.8

(参考) 自己資本 2024年6月期第1四半期 847百万円 2023年6月期 798百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年6月期	—	—	—	—	—
2024年6月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の業績予想(2023年7月1日~2024年6月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,817	18.6	200	25.0	199	34.5	131	29.4	105.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期1Q	1,245,000株	2023年6月期	1,245,000株
② 期末自己株式数	2024年6月期1Q	24株	2023年6月期	24株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期1Q	1,244,976株	2023年6月期1Q	1,059,094株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国の経済は、景気が緩やかに持ち直されてきているものの、継続的な物価上昇や世界的な金融引締め等により、金融資本市場や景気動向は先行き不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く国内IT市場においては、従前からの生産性向上や競争力強化を目的としたDX需要が堅調に推移しております。既存システムのクラウド移行による、インフラストラクチャー及びアプリケーションのモダナイゼーションの支援や、AIによるデータ利活用を通じた企業のデジタルビジネス化推進など、需要の幅が広がっております。

世界的には、パブリッククラウド市場をけん引するAmazon Web Servicesが、クラウドサービスにおける生成系AIの活用領域を拡大する動きを見せております。追従するMicrosoft Azure及びGoogle Cloud Platformとの間での競争を通じて、各社が独自の強みを活かしたクラウドサービスの拡充・強化を進めることにより、パブリッククラウドサービスのユーザーにサービス選択肢の多様化及びクラウドサービス機能改善の利益をもたらすとともに、パブリッククラウド市場の更なる規模拡大が見込まれます。

このような中、当社の事業においては、クラウドインフラを活用したシステム開発の需要が引き続き旺盛で、クラウドインテグレーションサービスが全体の売上高を牽引しました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の経営成績として、売上高439,278千円、営業利益74,978千円、経常利益74,940千円、四半期純利益48,894千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は1,089,166千円となり、前事業年度末に比べ32,649千円減少しました。これは主に売掛金が53,443千円増加した一方で、法人税等及び消費税等の納付等により現金及び預金が72,078千円減少したことによるものであります。

固定資産は120,599千円となり、前事業年度末に比べ10,033千円増加しました。これは主に賞与引当金の積立等により投資その他の資産に含まれる繰延税金資産が4,338千円増加したことによるものであります。

(負債)

流動負債は313,561千円となり、前事業年度末に比べ64,857千円減少しました。これは主にAWSリセールサービスの履行義務の充足に伴って契約負債が35,084千円減少したこと、また、未払法人税等が25,653千円減少したことによるものであります。

固定負債は48,276千円となり、前事業年度末に比べ6,652千円減少しました。これは主に長期借入金が6,666千円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は847,928千円となり、前事業年度末に比べ48,894千円増加しました。これは利益剰余金が48,894千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の業績予想につきましては、2023年8月10日に公表の「2023年6月期決算短信」に記載のとおり、通期の予想に変更はありません。

なお、当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる可能性があり得ることをご承知おきください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	847,949	775,870
売掛金	145,388	198,831
契約資産	42,536	39,986
仕掛品	72,185	41,980
その他	13,805	32,497
貸倒引当金	△48	-
流動資産合計	1,121,816	1,089,166
固定資産		
有形固定資産	26,036	30,191
投資その他の資産	84,530	90,408
固定資産合計	110,566	120,599
資産合計	1,232,382	1,209,766

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	43,495	42,336
1年内返済予定の長期借入金	39,996	39,996
未払法人税等	56,007	30,353
契約負債	94,986	59,902
賞与引当金	-	19,507
その他	143,933	121,464
流動負債合計	378,419	313,561
固定負債		
長期借入金	40,016	33,350
資産除去債務	14,913	14,926
固定負債合計	54,929	48,276
負債合計	433,348	361,837
純資産の部		
株主資本		
資本金	235,400	235,400
資本剰余金	225,400	225,400
利益剰余金	337,574	386,469
自己株式	△112	△112
株主資本合計	798,262	847,157
新株予約権	771	771
純資産合計	799,033	847,928
負債純資産合計	1,232,382	1,209,766

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
売上高	439,278
売上原価	263,902
売上総利益	175,376
販売費及び一般管理費	100,397
営業利益	74,978
営業外収益	
助成金収入	187
その他	30
営業外収益合計	218
営業外費用	
支払利息	98
為替差損	142
その他	15
営業外費用合計	255
経常利益	74,940
税引前四半期純利益	74,940
法人税、住民税及び事業税	30,384
法人税等調整額	△4,338
法人税等合計	26,045
四半期純利益	48,894

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(資本金及び資本準備金の額の減少)

当社は、2023年9月27日開催の第20期定時株主総会において、資本金及び資本準備金の額の減少を行うことを決議し2023年10月31日付でその効力が発生しております。

1. 資本金及び資本準備金の額の減少の目的

今後の成長戦略を実現するために、会社法第447条第1項及び第448条第1項の規定に基づき、資本金及び資本準備金の額を減少し、その他資本剰余金に振り替えるものであります。

減資の目的は、財務戦略の一環として、機動的かつ柔軟な資本政策の実現と、中長期的な企業価値向上の実現に向けて、株主利益最大化を図ることとあります。

2. 減少する資本金及び資本準備金の額

(1) 減少する資本金の額

当社の資本金の額235,400千円のうち185,400千円を減少し、減少額全てをその他資本剰余金に振り替え、減少後の資本金の額を50,000千円といたします。

(2) 減少する資本準備金の額

当社の資本準備金の額225,400千円のうち225,400千円を減少し、減少額全てをその他資本剰余金に振り替え、減少後の資本準備金の額を0円といたします。

3. 資本金及び資本準備金の額の減少の方法

会社法第447条第1項及び第448条第1項の規定に基づき、資本金及び資本準備金の額の減少を行ったうえで、それぞれの全額をその他資本剰余金に振り替えることといたします。

4. 資本金及び資本準備金の額の減少の日程

(1) 臨時取締役会決議日	2023年8月21日
(2) 定時株主総会決議日	2023年9月27日
(3) 債権者異議申述公告日	2023年9月29日
(4) 債権者異議申述最終期日	2023年10月30日
(5) 資本金及び資本準備金の額の減少効力発生日	2023年10月31日

5. 今後の見通し

本件は、純資産の部における勘定科目間の振替処理であり、純資産の変動はなく、当社業績に与える影響はありません。